



こあらのまーち

進級まで残り1ヶ月となりました。まだまだ冷え込みの厳しい日が続いていますが、子ども達は寒さに負けずに白い息を吐きながら元気に園庭を走り回ったり、ルールのある遊びを楽しんだりしてクラスの中はいつも賑やかに過ごしています。

4日には節分行事をしました。子ども達は自分達の鬼のお面を作ったり、豆を入れる箱を作ったりして鬼がいつ来るのか不安と楽しみな気持ちを抱えながら過ごしました。保育教諭が「鬼が来ても大丈夫？」と子ども達に尋ねると、「おになんてこわくない」や「おにがきたらまめをなげる」と言い、やる気満々な様子を見せていました。しかし、いざ鬼が目の前に現れると、怖くて泣いてしまう子、保育教諭や友達の後ろに隠れる子、豆を一生懸命投げる子など様々でした。鬼が帰っていった後は、「たくさんまめなげれた」「こわかった」などと、それぞれ話していました。



<きな粉作りクッキング>

子ども達は大豆を使ってきな粉作りをしました。ミルサーという機械に大豆を入れ、上から押すと「ガガガッ！」という大きな音とともに、大豆があっという間にきな粉になり、そのいい匂いにも気づいて興味深く観察する姿も見られました。おやつでは砂糖や塩を入れて混ぜ、くずもちにかけて食べました。みんなで作った出来立ての味は格別だったようで、どの子も夢中で食べていました。

<生活発表会 楽しかったよ>

生活発表会をご観覧していただきありがとうございました。こあら組にとっては初めての大きな舞台でしたが、劇練習を通して様々なことに挑戦し頑張ってきました。台詞の読み合わせでは、初めは慣れない台詞読みに恥ずかしくて声が小さかった子もいましたが、毎日劇練習をしていくうちに次第に劇の台詞を覚えていき自信をもって台詞を言えるようになりました。歌の練習では、「♪しあわせならてをたたこう〜」と、歌いやすいフレーズで子ども達は元気に大きな声で歌っていました。中には、恥ずかしくて声が小さくなった子もいましたが、「今日はたくさん口が動いていたよ」と声をかけると嬉しそうな姿を見せていて、次への練習につながりました。また、劇の衣装も嬉しかったようで、「ぼくのは？」「つぎはわたし！」と、子ども達にとっては気持ちが上がる要素の1つでした。こうして出来上がったこあら組の劇は子ども達にとって大きな宝物になったと思います。残り少ないこあら組の生活も、こうした気持ちを胸に楽しく過ごしていきたいと思います。



2日（月）体操教室

13日（金）お誕生会

お別れ会

3日（火）ひなまつり

19日（木）1号修了式

5日（木）交流給食①

23日（月）1号春休み

12日（木）歯科健診

31日（火）修了式

交流給食②